

建設委員会

昭和三年四月二十四日午後一時

一生席者

瀨古傳卷

夏橋市

村尾四郎 変四章卷

飯野高十郎

麥田詩卷

川
益
助
役

高水課長

猪
侯
技
師

協議事項

仲新造改修工事の件

李昌長 開會宣言

叻
役

四米道路で非常にせまいので、型を民地に入れ、空の電柱を民地に入れ、べく地主の
議をいなか、四名がどうしをも承認となること。
山本、金、後、桜沢の四氏である。
現況のままで装束と云ふこと。

山本金子、後、桜沢の四氏である

現況のまゝでは衣と糸と云ふ

委員長

本件については、小生も仰る通り、立場であるが

動議から考えるのも、地元の町内会長等、中肯折、ある程度、大心配なもの
と思つたが、このような現況とある、そこで、

よろしく中検討の上、よりよい方法を決まると、

委員長

最悪の場合、山本、秘決は、工事は、二期とする。

全線一期にやべく、地元接洽することに決ま。

助役

業者の指名を

田中建設 少川 富士見 竹達 鈴木 五社

但し、竹達は、入れの道に指名参加が未提出の場合、取消すこと。

二、良沢第一内新設道路の件

田中第一 昨午、陳情を、市分授、通学道路と、ふ名目で、あるが、

考え、そのまゝ、継承する。

旧九五、新九五を、総、部は、六米は理想、田中第一、金、

望、と、い、い、が、地元で、現地検討の結果、下作、了、承、を、

一方、神、様、の、用、が、道路の、抗、中、は、石、橋、(石、屋、)の、絶、作、の、実、行、

物、も、ま、あ、り、と、困、難、を、い、現、在、の、参、道、の、延、長、と、考、え、て、四、米、に、つ、つ、は、

地元で、接、洽、し、て、あ、る、と、い、四、米、を、通、る、が、出、来、る、と、思、ふ、

田中第一 四米は、將來、を、考、え、る、と、ま、い、い、と、い、ふ、水、路、を、考、え、て、五、米、に、つ、つ、は、

委員長 水路の、付、留、業、の、い、り、五、米、に、考、え、る、よ、う、に、因、検、討、願、ふ、こ、と、を、

三、排水溝新設並路面補修の件 (陳情 田中建設工業社)

助役 説明

田中建設 道路、よ、う、な、よ、い、こ、う、な、問、題、が、次、々、に、出、る、場、合、を、考、え、ま、す、と、い、ふ、

田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設

田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設

田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設 田中建設

議長「最近砂利の高値なるを

地元の補修費に充てり負担し

恐らく、市で補助費を充てても施工はするだろう。然し、市にないもの

市長「一割程度どうかと思ふ。

市長「一割の誤解をされれば若干出さう。市道がよくなるのはよいと思ふ。

市長「許すとして、五万円補助することになりたう。

委員長「右より決まします。

四、保育園取付道路の件

議長「議決す。田舎おろす」

終了。午後三時四十五分。

市議会全員協議会

昭和三十三年五月二十六日午後一時

一、収入役選任を求むる件につき

市長「川辺収入役が五月三日まで任期満了となった。(湯本十才)

三則就任した

大野忠一氏を候補に推せん

川邊収入役の経費を報告する。

田村秋人「総務部長の兼任は誰か?

市長「総務の振合通成通が、主任級。かなりの異動が生じ、目下検討中

もうしばらく、時間を要する(数ヶ月)

二、凍害害対策につき

市長「市会の方針として協議する

市会の方針として協議する。病害虫防除の徹底、種子確保。

市農会(五百万円総額)一ヶ年、利子補給日歩三銭(三万五千円以内とする)

農会(組合員)からは無利とする(農協側)

木村田幸彦(時村幸良) 中向報告
議 長 外米委員会で決まらるるについで異議^{あり}を^いふ^が
を^しや^うす、
幸良、委員長 報告より決まらずに

(一)議
四三
契約締結同意方につて、(水産資材購入)

(ニ)ギ
四四、
收入税の選任につき。

大野忠一氏

(三)キ四五
契約締結同意方にて

仲新送車以仲新路路面補修工事

金七二五〇〇〇
建設工業株式会社

(四) 玉川用水分水路からの消防用水改修方請願件、
（養育系菊巻外五名）

蘇聯軍事委員會代表說明
議案

建設委員會協議事項
三三八

一、所管住宅建設敷地變更に付て

建設場
福生所書
福生武野
二九〇

地
主
加
藤
惣
之
郎
三
九
一
一
三
一
五
四
七
四

小山考作
二〇九〇ノ二
四七八・四一併

遊年一刊
二九〇一三
二三九、六、四、四

田
木
七
九
二
九
〇
一
四
二
四
八
三
三
四

田中半次郎
西長二五所
（逆路救）

一、令校入口逆路新設に付

神造也
作
福生
三
五
一
介
拉
造

聞者
村居
也白美
耕種
乾日三四三

田木富十郎
山下政吉
岡本金吉

一 能川 銘々戸 用水 堀に つて

一 補内道 七ヶ所 改修 工事につて

都補内道 七五〇〇日 (予定)

十 長沢 才所内道路新築につて

一 所道 拂下け 工事につて

能川 字武蔵野 一三九〇番先 拾貳坪 奥村 正 臣

〃 字北 六〇七番先 三九七八坪 森田 正 作

〃 字東四七八番先 八五三三坪 持田 孫太郎

〃 字東四八二番先 二三六八坪 森田 正 作

襦生 字加美 一六六九番先 一四七五坪 大 野 新 蔵

能川 字東五〇八番先 六三七四坪 石川 幸四 郎

二三九二七坪

一 町道 寄付につて

能川 字武蔵野 一三七九番先 二歩 奥村 正 臣

〃 一三八九番先 二八歩

〃 一三九〇番先 二五歩

一 その他

東京都西多摩郡福生町役場

三三八九

青 孔

卷之四

委心

四端議表

一、午、初、九、時、三、分、開、會

一、協議事項

所管住宅敷地変更につき

委員長 所長 助役 定正 報告 及 理由の説明

金與吳議
其更承記

売收価格につき、八〇日前後程江を認む

第一時代に伴
表の市井の如
きを交渉したう
と云ふ（東京）

2. 分校入口道路新设

町長
説明
巾着
分
m
止
長
九
七
五
m

鉛
若
戸
用
水
に
つ
いて

猪侯技师设计
フキ
説明

工事は造営とし
補助金として交付

補道七号改修工事

本年河沿
施仁社

長江道路新誌

毛織 6m にし
おけ小は
委實合と
け
羽り
ヒ
ふ
百
い

一、
一、
交涉に
つては
所長
議長
長
一任
する
本
金
議
上
下

終年出十

町内会
町会長
副会長
田代氏
三氏
古川氏

情況を概取し、結論として町長に一任する事とした。

久
所
道
掛
下
下
に
つ
つ
と

奥村正臣の石像

[illegible]

つゞは
利上
了
常は
出来
る

今後は田米並路は出来ず、石川町上町、市

その池

補助並土手修
築
橋
下
土
手
造
路
基
地
上
造
路
改
修

牛乳
一
杯
半

建設委員會協議事項 三三九八

一、新宮住宅敷地造成に付て

蘇長
所
學
信
信
教
地
里
收
壯
說
報
告

猪俣技師「敷地造成」の説明
一「現地調査」の様子

松村十郎

二.
聖前
左場
1: 7
1/2

可長經述說明
補書四改七第
八百六
工市七
六
計一〇〇〇月

諸君
 鑑正
 神田
 三三
 一五〇一
 (六〇一
 一四)
 神田は為年
 一六

要
細
上
高
部
神

商水街、
勸き、
おききり
者の
2、
1、

米象 〃
はつき申入小をすんきあ

所長のけしき
 本館へ

所
名
1.
結
局
部
々
一
〇
〇
〇
不
2.
ニ
ホ
〇
不
と
し
七
ホ
〇
不
に
み
し
新
元

高
方
所
多
三
。
不
は
出
と
清
い

委員長

諸君として 商店街の当地青板の動くへきであるから
白木に銀の牙のいかに早く完成する様にと

一その他

1. 補助道線入申請につき

四回より説明 新設申請 八本

2. 補助道線入申請は進捗報告(議長)

尚努力を怠る事

3. 合設道路は進捗報告

4. 長江道路 丹波町 早急に完成する

5. 新設道路 早急に完成する

一 現地調査 山下住宅

建設委員会協議事項 三九八

一 駅前広場にフツ

一 所管住宅敷地造成にフツ

一 その他

1. 補助道線入申請にフツ

2. その他

附 中長道路

新設道路

市道線入

(市道線入) 村元より報告

市道線入

市道線入

市道線入

東京都西多摩郡所立町名